

医療につながるピクトグラム

長崎東高校 1年
秋山琴美 井上七海
古賀愛菜 吉田椋乃



There are many people in the world who are illiterate. Therefore, it is difficult for them to understand how to take a medicine. To solve this problem, we tried to make pictograms without words.

背景

- 世界には非識字者が存在し、生活する中でさまざまな問題が発生
- 文字が読めないことにより、適切な薬の使い方を理解することができないことは命に関わる重大な問題に

研究方法

- ①世界各国の識字率の現状を調査。
- ②イブクイック頭痛薬(エスエス製薬)の説明書を参考にピクトグラムを試作。
- ③クラスの生徒35人を対象に、試作したピクトグラムの理解度調査を実施。
- ④株式会社フードピクト 代表取締役 菊池信孝氏にインタビューを実施。
- ⑤ピクトグラムの改善

研究②

研究③

ピクトグラム	正答率(%)	考察
	約77.14	・妊婦であるという認識が困難 ・椅子に座っていることに意味を感じてしまう
	約94.28	特に問題なし
	約82.85	・子供であるという認識が困難 ・子供と一緒に使用することができないと認識してしまう ・授乳中は使用禁止と認識してしまう
	約68.57	・副作用がある、イライラしていると認識してしまう ・座っていることに意味を感じてしまう

研究⑤

ピクトグラムver.2	改善した点	課題
	妊婦を立たせる	分かりにくい
	ピクトグラムが小さくてもわかるように、錠剤を半円の下に置く	「1日に2錠服用」と捉えてしまう
	・「大人は使用可能」「子供は使用禁止」という比較をしない ・頭は大きく、肩幅は小さく、手足は短くし子供らしさを出す	—
	・頭だけを表記 ・痛みは稲妻のマークで表現	—

参考

JIS規格ピクトグラム(国土交通省)
バリアフリー: 案内用図記号 (JIS Z8210) (令和元年7月20日)
朴京子, 小山慎一, 山下純, 望月眞弓, & 日比野治雄. (2018). OTC 医薬品添付文書におけるピクトグラム表示の試み. *医薬品情報学*, 20(1), 20-28.
今西孝至, 高松千世, & 高山明. (2017). 医薬品の薬効を示すピクトグラムの作成とその必要性並びに評価について. *医療薬学*, 43(11), 640-647.
エスエス製薬 イブクイック頭痛薬(説明書)
国際協力NGO ワールド・ビジョン・ジャパン
https://www.worldvision.jp/children/education_03.html

薬の絵文字
<https://www.dspharma.co.jp/sukoyaka/guide/pdf/pictogram.pdf>
世界子供白書2002
<https://www.unicef.or.jp/library/sowe/2002.html>
世界子供白書2019
統計データ | 世界子供白書2019 | 日本ユニセフ協会 (unicef.or.jp)

問い

非識字者にピクトグラムを用いて薬の使い方を伝えることは可能か。

目的

言葉を使わずに正しい薬の使い方を伝えることのできるピクトグラムの開発

研究①

地域	識字率(%)	
	男性	女性
世界	92.00	88.00
南アジア	87.14	77.42
東アフリカ	85.00	81.66
西アフリカ	66.91	51.83
中部アフリカ	79.25	70.75
チャド	41.00	22.00

ユニセフ『世界子供白書』より

研究④

- 菊池氏からのご意見
- ・ピクトグラムはシンプルが基本
 - ・理解度調査を行う際はISOやJISなどの公的な調査方法を用いる
 - ・ピクトグラム完成後、使う人が意に沿った使い方をしているか調査することも必要

結果

- ・現段階のピクトグラムでは、非識字者に薬の正しい使い方を伝えることは不可能
- ・今後も改善させていく必要あり

今後の展望

- ・アンケート手法の見直し
- ・作成したピクトグラムを普及させるために
 1. 企業との協力
 2. 新たなピクトグラムをデザインしてもらうコンテストを開催
 3. ピクトグラムの規格化
- ・対象地域を決め、文化や実際に使用されている薬にあわせたピクトグラムの作成 → 長崎大学等、外部の機関との連携